



## 行財政改革計画の策定を急げ!!

今後、少子高齢社会に伴う社会保障関係費等のほか、公共施設の再編整備など多額な費用が必要になります。その一方で、人口減少に伴う税収減、特に松戸市内に多く住む**サラリーマン層が定年を迎えると、急激に市民税収入が減る**ことが予想されます。これまで岩堀けんしは、高齢者、子育て、障がい者など社会福祉の分野を中心にさまざまな対策を提案して参りましたが、これらの改善策にも新たな費用が伴います。今から先を見通した行財政の改革を行い、手を打たなくては次世代にツケが回る…、例えばこれまで受けられていた保障やサービスがなくなることも現実と考えられます。しかし現市長就任以来、「**行財政改革計画**」の策定すらなされないまま**6年が経過している**ことに、私は強く危機意識を抱いています。

## 将来世代に禍根を残さない行財政運営を!

岩堀けんしは一貫して「**入るをはかりて出るを制す**」という行財政運営の原則を訴え続けています。わかりやすく説明すると、100円を得たら支出も100円に抑えるという原則です。つまり「すべての課題を実現」は理想ではありますが、私たち市議、そして市長、市役所は将来のことも意識し、予算を組む責任があります。きちんとした「行財政改革計画」がなければ、場当たりの政策になりかねません。

**一年間で減らす借金の額を明確にし、その上で各部署が使える予算を決める。そして、その配分された予算枠の中で、各部署が事業の優先や取捨選択を行うという原則に基づいた行財政運営を行う**ことが大切であり、行財政の将来見通しを議会・行政職員・市民が共有できるようにすべきです。

難しい舵取りとなりますが、市役所は構造的な体質からの脱却を図るべく、このような具体策をもって「行財政改革計画」を策定し、**次世代に対し責任が果たせる道筋**を早急に示すべきと岩堀けんしは考えています。

### お知らせ



長年多くの方に親しまれてきた北部市場が、施設の老朽化や取り巻く環境の変化等により、平成29年3月31日をもって終了することが決まりました。民地であることから跡地活用について市には直接的な決定権がありませんが、現時点では商業施設なども一つの選択肢として検討されているようです。市民の食を支えてくれた市場と関係者の皆様へ、感謝を申し上げたいと思います。

### プロフィール

- 昭和47年  
松戸市栗ヶ沢生まれ
  - 栗ヶ沢小・中学校卒業
  - 江戸川学園取手高校・千葉商科大学卒業
  - 平成10年  
松戸市議会議員選挙初当選
  - 2期務めるも、わずかに125票届かず3期目惜敗
  - その後、特養老人ホーム介護職に従事、介護福祉士となる
  - 平成22年11月3期目再選  
平成24年12月より一年間、「松戸市監査委員」に就任
  - 平成26年11月4期目再選
- 家族 妻・娘二人(0歳、1歳)



地元の氏神様へお宮参り